

|         |   |                          |
|---------|---|--------------------------|
| 86      | 建設局   | 地域特性に応じたヒートアイランド対策としての舗装 |
| 事業概要    | <p>大都市特有の課題であるヒートアイランド対策の一つとして、東京都では、舗装内に蓄えた水分が蒸発することで、路面温度の上昇を抑制する効果のある保水性舗装を実施している。</p> <p>さらに、低騒音機能を損なわずに路面温度の上昇を抑制する効果のある舗装として、太陽光を反射する遮熱材を舗装表面に塗布する遮熱性舗装を、平成19年度に試験施工し、平成20年度から本格実施している。</p>   |                          |
| これまでの経過 | <p>○ 遮熱性舗装<br/>夏場に一般の舗装と比較して8℃程度の路面温度上昇抑制効果が確認できた。(平成19年度共同実験による調査結果)<br/>平成19年度は共同実験による試験舗装を新大橋通りで実施した。<br/>また、靖国通り(千代田区神田神保町一丁目地内)外2箇所、延長0.8kmの試験施工を行った。</p> <p>○ 保水性舗装<br/>夏場の降雨後に一般の舗装と比較して10℃程度の路面温度上昇抑制効果が確認できた。(平成14年度調査結果)<br/>平成19年度は、特例都道二四七号線(千代田区霞ヶ関二丁目～霞ヶ関三丁目地内)外6箇所、延長2.1kmを実施した。<br/>保水性舗装のこれまでの施工実績は、延長10.8kmである。</p> |                          |
| 現在の進行状況 | <p>○ 遮熱性舗装<br/>平成20年度は、晴海通り(千代田区有楽町一丁目地内)外8箇所、延長2.6kmを実施した。</p> <p>○ 保水性舗装<br/>平成20年度は、江戸通り(中央区日本橋本石町四丁目～日本橋室町三丁目地内)外3箇所、延長1.0kmを実施した。</p>  |                          |
| 今後の見通し  | <p>今後は、『「10年後の東京」への実行プログラム2009』に基づき、センター・コア・エリアを中心とした重点エリアにおいて、遮熱性舗装、保水性舗装を積極的に実施していく。</p> <p>また、経年変化に伴う路面温度上昇抑制効果の持続性や耐久性などについては、引き続き検証を行っていく。</p>   |                          |
| 問い合わせ先  | 建設局 道路管理部 保全課   | 電話 03-5320-5292          |